

始良・伊佐地域青少年育成だより

発行
始良・伊佐地域青少年育成推進協議会
第50号 令和5年3月

〒899-5212 始良市加治木町諏訪町12
始良・伊佐地域振興局総務企画課地域振興係
TEL 0995-63-8109 FAX 0995-63-8108
HP 鹿児島県始良・伊佐地域振興局 健康・福祉→検索

始良・伊佐地域青少年推進協議会総会后、 青少年環境づくり懇談会を開催しました！！

7月25日(月)、始良・伊佐地域振興局の大会議室で県青少年男女共同参画課、管内警察署、教育事務所等に協力を頂き、令和4年度始良・伊佐地域推進協議会総会と青少年環境づくり懇談会を開催しました。

教育事務所から、インターネット利用等について「携帯電話の所持率はR2とR3を比較すると県平均では下がる傾向に対し、本地区は増加している」、「家庭内ルール設定率はR2とR3を比較すると、県も地区も設定率が伸びている状況で良い方向にある」との報告がありました。平日におけるインターネットの利用平均時間は、小学生で1時間未満、中学生で1時間～3時間の利用が最も多く、3時間以上の利用については、小学校で3.8%、中学校で9.1%となっていることが気になります。携帯電話等の活用の仕方を教えたり、ネット被害やトラブルに巻き込まれないためにはどのようなことに気をつけたりすればよいか、など学校と家庭が同じ方向に、同量程度の指導を充実させる必要があります。温度差があると子どもは易きに流れます。

警察署からは管内の状況について、「犯罪少年は、やや減少傾向にあるが、触法少年については増加傾向にあり、小学生に対する非行防止策が必要である」「不良行為に関しては、深夜徘徊が6割を占めている。また、同一人物による補導が多く、補導に慣れてしまっている」「少年非行の特徴として、自転車盗等の非行の入り口と言われる初発型非行が多く、喫煙や深夜徘徊で補導される少年が多い」との報告がありました。

青少年育成コーディネーターの活動報告では、伊佐市の山下和弘さんから自分が所属する牛尾校区コミュニティ協議会での実践例や課題や悩み等の報告がありました。始良市の福丸英徳さんからは、松原なぎさコミュニティ協議会での実践例や課題、悩み等の報告がありました。

(詳細は「青少年育成コーディネーターが行く」で掲載してあります)

当方からは、令和3年8月から11月にかけて実施した有害図書等に関する立ち入り調査の状況を報告しました。コンビニでの有害図書の有無や管理状況、刃物販売店での販売に関する表示や年齢確認等について販売側と確認をとりました。また、無人有害図書等設置場所へは設置場所警察署員及び県青少年男女共同参画課の三者で確認するとともに、自販機設置業者への条例遵守指導について共通理解を図りました。



始良市コーディネーターの福丸さん



参加者からの質問・意見

○ 「第45回少年の主張鹿児島県大会」の作文募集！

本年度は、鹿児島地区から本県代表者に選ばれ、九州地区大会に出場しました。

来年度も作品を募集します。普段感じている疑問や課題について、文章(作文)にしてみました。多数の生徒の皆さんが応募してくれることを期待しています。

★ 作文の内容等詳しいことについては担当の先生に聞いてください。

ご高覧の皆様、自分の周りの中学生に応募するように是非声かけをお願いします。
提出期限・提出先は、各中学校へ聞いてください。

令和4年度『強調月間』取り組み 各市町でイベント等開催し大成果！！

【伝統芸能継承活動】 湧水町

湧水町ではそれぞれの地域において、一月を超える期間、郷土芸能保存会や地区公民館の方々の指導のもと披露に向けた練習が行われた。どの地域においても子ども達が参加しており、年代を超えた方々との交流と地域コミュニティーの一員であることを実感させる取り組みとなった。



11月13日（日）秋まつり舞台芸能祭

- ①上場地区の児童 16名が参加の「上場地区水窪建築踊り」 ①「上場地区水窪建築踊り」

11月23日（祝）秋まつり農林商工祭

- ②中津川地区公民館郷土芸能保存会
（小学生：2名，中学生：1名，
高校生：1名参加）「上中津川棒踊り」
③東中下場地区栗野磨欲踊り保存会
（栗野中生徒への声かけ1名参加）



- ②「上中津川棒踊り」 ③「栗野磨欲踊り」

【地域学習農業体験（稲刈り）】伊佐市山野校区

米どころとしても知られる伊佐市山野校区は特に寒暖差のある地域でもあり水稻栽培が盛んである。もち米を栽培し、田植えから稲刈り、収穫したもち米で餅をつき、「メの餅」作り等の体験活動を行い子ども達に栽培から加工までの学習をとおして、地域農業について理解を深めてもらった。

参加：山野小児童（主に3・4年生対象）、保護者、コミュニティ、地域住民、学校応援団

【主な日程】

令和4年6月・・・田植え（もち米栽培）体験
坂下橋付近田での田植え（手植え）

令和4年11月・・・稲刈り体験
鎌を使用した稲刈り，乾燥（天日干し）

令和5年1月・・・餅つき、「メの餅」作り体験。
収穫したもち米を蒸して，餅をつき，
ついた餅でメの餅作りを体験する。



【メの餅は、小さく丸めた餅を木の枝に付けた物】

【強調月間中における各市町の主な取り組み】

市町名	主 な 取 り 組 み 事 項
霧島市	○ 佐々木地区史跡めぐり（横川地区） ○ 縄文の森での体験活動 ○ まきぞのおもしろ探検への取り組み活動（牧園）
伊佐市	○ 地域学習農業体験（稲刈り） ○ ナイターリレーマラソン大会 ○ 進路学習「職業人に学ぶ」 ○ いのちの授業羽月西校区棒踊り ○ 稲刈り交流会 ハロウィン仮装で火打ち
始良市	○ 浜下り（帖佐校区コミュニティと松原なぎさ校区コミュニティ共同） ○ AIRAふるさとチャレンジャー ○ サイエンスあいらんど
湧水町	○ ひと声添えたあいさつ運動 ○ 郷土芸能伝承活動

春の「郷土に学び育む青少年運動」期間中！！

来る3月11日（土）から4月10日（月）までが春の「郷土に学び・育む青少年運動」の実施期間となります。各市町教育委員会や青少年育成市町民会議等の計画で、色々な活動等が展開されると思います。関係者の皆様や団体のお力添え，ご協力をよろしくお願い致します！

かごしま地域塾「優れた地域塾」に新たに4団体を認証！！

去る2月19日（日）に「かごしま地域塾活動活性化セミナー」が、開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために2年間中止していましたが、対策を講じての開催となりました。その中で、本年度は4つの団体が「優れた地域塾」として認証されました。その認証団体を紹介します。

「優れた地域塾」として新たに認証された団体

地域塾名	代表者名	構成	主な取り組み
蕨島小児童増加推進実施委員会 (出水市)	中村 一徳	小 20人 中 0人 他 31人 計 51人	・体験活動（マテ貝掘り体験、海釣り体験、もちつき、鬼火焚き等） ・学習活動（クリスマス会、お別れ会等）
寺子屋「黒木塾」 (薩摩川内市)	平山 淳郎	小 16人 中 13人 計 29人	・学習活動（夏休み自主学習会） ・体験活動 ・キッズ園花植え（年2回）
始良市ジュニアリーダークラブ「どんぐり」(始良市)	楠元 亮太	中 14人、高 10人 他 3人 計 27人	・市内の社会教育事業の運営協力 ・こども食堂やマナビバのボランティア活動 ・AIRAふるさとチャレンジャー運営補助等
轟・おどろき塾 (湧水町)	植林 伸洋	幼 15人、小 51人 中 19人、高 20人 他 100人 計 205人	・伝統芸能の練習（豊祭相撲等） ・カヌー教室、川下り体験 ・ふれあいグランドゴルフ大会等
日本宇宙少年団南種子町宇宙科学分団 (南種子町)	小西 嘉秋	小 59人、中 19人 高 1人、他 23人 計 102人	・地域高齢者とのふれあい交流 ・黒糖作りや農業体験等 ・「宇宙とロケット講演」「おもしろ化学実験」等

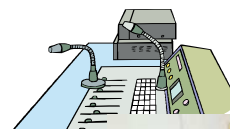
始良・伊佐地域人財確保・育成事業 「放課後みらいラジオ」

「始良・伊佐地域人財確保・育成事業」では、始良・伊佐地域の小中学生が、経営者や採用担当者など、働く大人の話しを聞き、地元企業や産業に触れる機会をつくるとともに、将来の就職について考えるきっかけを作るためのラジオ番組、「放課後みらいラジオ」を実施しました。

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、Webによるインタビューになったので、伊佐市の本城小と大口中央中、湧水町の栗野中に協力をいただいていた行いました。事前説明の時間を設定し、校内LANを使わせてもらいました。協力企業・事業所は始良市の社会福祉法人敬天会、株式会社ランドアート、湧水町の農業生産法人そのやま農園、MECIndustry株式会社でした。

参加した児童生徒からは、「地元こんな会社があるんだ、実際に見てみたいと思った。」「他の職場も調べてみたい」等の意見があり、将来を考えるきっかけになったのではないかと思います。

右のQRコード（あいらびゅーFMのYoutubeページ）から、当日の様子や放送内容を見たり、聴いたりすることが出来ます。



伊佐市立本城小学校



湧水町立栗野中学校



西浦小 少年消防クラブ ～少年消防クラブで学ぶ心得～

全員が交代で代表あいさつをする始業式、全員が応援団となって盛り上げる運動会。いろいろな行事をとおして、異学年同士の信頼関係により兄弟姉妹のような仲が生まれています。

少年消防クラブで学ぶ心得

今年度で結成24周年。消防署の指導のもと規律訓練を重ね、令和5年1月始良市出初め式で正々堂々の行進と技能を発表しました。訓練で学ぶ“静と動”の心得は普段の生活でも活かされ、メリハリのある行動につながっています。大給校長先生が「隊列訓練は、運動会で保護者や地域の方々にも披露しています。入学して間もない1年生も上級生から教えを受け、斜め行進や動と静をしっかりと現すことができるようになっていきます」と笑顔で説明されました。

他にも、毎年4月には地域の人たちと近くの山で「たけのこ掘り」など、年間をとおしての自然体験も豊富です。特認校生はスクールバスやタクシーで通学しています。



出初め式の様子



たけのこ掘り体験

郷土芸能伝承活動 ～栗野磨欲踊りから～

湧水町の「栗野磨欲し踊り（くりのどぎほしおどり）」は島津第17代当主の島津義弘公にゆかりの郷土芸能です。

栗野松尾城に在城されていた時に、豊臣秀吉公から出陣の命令が下り、栗野の勝栗神社で先勝祈願のため、二才衆（にせしゅう）に「栗野磨欲し踊り」を踊らせたと言われています。

この「栗野磨欲し踊り」は義弘公の五男久四郎君の命日（7月4日）に踊り継がれてきました。戦後、刀剣類舞踊禁止措置により途絶えていましたが、平成27年11月23日に復活の機運を高めるため、栗野中学校生徒の協力を得て、松尾城から勝栗神社まで武者行列（鎧を纏い）を再現した総勢63名が練り歩き、翌平成28年から「栗野磨欲し踊り」として復活しました。令和4年から、その踊り手に中学生も加わり、芸能伝承活動に係わっています。



小学校体育館にて練習風景



本番当日（勝栗神社）

今回、参加した栗野中2年 池田 圭孝君の感想

実際にやってみて、歴史ある伝統行事は、これからも守っていく必要があると思いました。これからも続けて参加していきたいです。



田中校区コミュニティ協議会では、毎年11月にクリスマス飾り作りの体験活動を取り入れています。田中ふるさと館の研修室で、画用紙や折り紙で、クリスマスツリーや飾りを賑やかな雰囲気で作製しました。参加児童20名、保護者8名、指導者5名の参加がありました。その中で、上級生が下級生の面倒を見たりして、学校ではあまり見せない表情が随所にありました。

当校区コミュニティ協議会では年間を通して月に1回（青少年育成の日）、体験活動を中心に独自の活動を続けています。近年の悩みは、児童の参加者が少なくなったことだそうです。以前は第三土曜日は、「青少年育成の日」として、部活動、少年団等の活動が自粛傾向にありました。

【上：集合写真，下：指導を受けながら作成中】



「昔の上小川を知る」「灯籠づくり」

霧島市立上小川小学校

寿会（会長：池田守さん）、舞鶴大学、公民館役員の皆様計十数名が来校され、11月14日（月）上小川小学校で、3年生を対象に3年ぶりに行われました。一通りお話を聞いた後の質問をいくつか紹介します。

Q：「この教室はありましたか？」

A：「田んぼだったよ。」 「えー」

Q：「遊具はありましたか？」

A：「相撲場があったよ。」 「おー」

Q：「体育館は？」

A：「そんな贅沢な物はなかったよ。」 「あらー」

Q：「給食センターは？」

A：「そんなそんな贅沢な…」

質問の回答に一喜一憂しながら楽しい時間を過ごしました。

その後、来年の地域の六月灯で使う灯籠制作に取り組みました。来校された方々の丁寧なご指導の下、慣れない金槌で釘を打ち、枠組みを作りました。この後、自分の好きな絵を描いて完成、来年の六月灯開催が楽しみです。笑顔で満足そうに取り組むふれあい活動でした。

そのほか、グランドゴルフ、公民館餅つき大会、鬼火だき、ウォークラリー等も計画しています。

（上小川小校長：安武慎一）



昔の上小川を語る



灯籠づくりの様子

青少年育成コーディネーターが行く !!

管内において、現在9名の青少年育成コーディネーターが委嘱され、日々積極的な活動を展開されています。本年度も、コロナ禍で各地域における青少年育成関係のイベントや活動が自粛の傾向や制限されるなか、三密を避けるなどの工夫をしながら、青少年の育成に尽力されている皆様には、本当に頭の下がる思いです。その中で、お二人の活動を紹介します。

◆伊佐市青少年育成コーディネーターの山下和弘さん

山下さんは、令和3年度に伊佐市青少年育成コーディネーターを引き受けられました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々なイベントや活動が中止や縮小などで、関係する会議のみの出席で、際だった活動ができていないのが気になっておられました。牛尾校区コミュニティ協議会での青少年体験活動や見守り活動をとおして、子どもたちとのふれあいや課題等について、何ができるか模索されていました。

そして「ここ最近の青少年の問題行動は以前に比べ、深夜徘徊や不良行為等は減少したが、インターネットを通じた、いじめや嫌がらせなどが潜在化、多様化し、取組が難しくなって来ている。」と話されました。



R4 青少年環境づくり懇談会での発表

◆始良市青少年育成コーディネーターの福丸英徳さん

福丸さんは松原なぎさコミュニティ協議会に所属し、SSVC+（地域学校協働活動）の学習支援で水泳の補助、図工学習、家庭科学習、総合的な学習の時間学習、持久走試走日の交通誘導、昔の遊び体験、登下校時の見守り活動などコミュニティ協議会と連携を取って、日々、自分たちができることはないかと多岐にわたって活動されています。

課題や悩みは「地域支援者の確保が年々困難になっている。理由として、高齢化と地域貢献に対する理解と協力が得られない」「登下校時に子ども達の安全確保を目的に交通誘導をしているが、なかには悪ふざけをしたり、急に飛び出したりする子どもがいる」「学習支援においては校区内での確保が難しい」しかし「子どもたちから感謝の手紙やお礼の品（バレンタインにはチョコをもらう方）もあり、皆さんの励みと生きがいにつながっています。」と話されました。



R4 青少年環境づくり懇談会での発表

毎月19日は、「食育の日」「育児の日」です。
みんなで食の大切さを理解し、栄養バランスを
考えた食事に努めましょう。また、子育てをしやすい
環境作りに力を入れ、子育てを応援しましょう。